

令和3年度第3回理事会議事録

1. 日 時：令和3年9月24日（金）18:30～20:00
2. 出席者：齋藤浩治、石山雅大、奥沢悦子、木村正彦、野坂知加、吉岡拓朗、吉田泰憲、逆井久美子、小山内誠、川口裕美、高松みどり、細川和子、本田昌樹、神山哲哉、三上英子、吉岡治彦
3. 欠席者：番場隆彦、米沼順子、河村義雄、太田孝雄

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に齋藤会長があたり、書記に高松理事が指名され、審議が行われた。審議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、オンラインで行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告

石山学術部長が不在のため齋藤会長より研修会と精度管理について以下の報告があった。

実施済み研修会

- 7月24日 第46回 医師検査技師卒後教育研修会（医師会主催）
- 9月12日 令和3年度 青臨技 輸血・移植検査部門研修会

今後開催予定の研修会

- 10月14日 令和3年度 青臨技 臨床一般部門研修会①
- 11月4日 令和3年度 青臨技 臨床一般部門研修会②
- 11月25日 令和3年度 青臨技 臨床一般部門研修会③

精度管理（予定）

- 10月初旬 案内開始
- 11月6,7日 資料発送
- 1月末 報告書作成
- 3月 精度管理指導講習会

2. 公益部経過報告

奥沢公益部長に代わり齋藤会長より以下の報告があった報告があった。

高校心電図健診について

10月2日に北斗高校後期入学者と前期欠席者を予定

ワクチン接種実技講習会

9月23日現在 基礎講習修了者110名、修了者60名

実技講習会は7月9日アスパムで39名、7月20日八戸市民病院で救急救命士と合同で

4名、7月25日ユートリーで20名の参加者があった。

3. 渉外部経過報告

木村渉外部長に代わり齊藤会長より日臨技「災害対策支援規定」等及び当該規定に基づく都道府県技師会との協力締結のための説明会開催が令和3年11月25日に実施されます。青臨技から木村渉外部長と野坂事務局長が参加します。

4. 事務局経過報告

野坂事務局長より以下について報告があった。

賛助会員を11月30日期限内で募集している。

北日本の学会プログラムが青臨技事務局へ届くことになっている。届き次第、各支部宛へ発送するので、会誌発送の要領で対応をお願いしたい。

認知症予防啓発活動に賛同し、ホームページを9月中はオレンジに変更している。

5. 齋藤会長より報告

日臨技理事会報告

①臨地実習指導者講習会

法改正により実習生受け入れのために臨地実習指導者が必要となり、2023年末までに1200名を目標としている。支部研修会として実施され、1施設1名分の受講費用(3,000円)は日本臨床検査学教育協議会(日臨教)が負担することになっている。まずはファシリテーターを育成する。青臨技からは定期的に臨地実習生を受け入れている弘前大学医学部附属病院検査部の櫛引さんをお願いした。10月1日～16日まで座学(オンデマンド)、10月17日にZoom使用でのグループワークが開催される。北日本支部での研修会予定は未定との報告があった。

②品質保証施設認証

「日臨技精度保証施設」から新制度「日臨技品質保証施設認証制度」へ移行することとなった。大きな改定は以下の3点

1) 「医療法の一部を改正する法律」を遵守することを基準とする

2) 現行の認証対象である2部門から最大10部門まで拡大
(各部門で禁忌および必須項目あり)

3) 臨床検査標準化に向け、自施設の検査体制を構築し、さらに「日臨技の実施する外部精度管理調査」に継続的・積極的に参加し、その精度が一定以上の基準を満たし、さらに是正改善に積極的に取り組まれていることが確認されること

スケジュールは12月から2月で申請、3～4月で審査予定。コンテンツ作成、申請、審査を考えると認定期間は6月1日～5月31日までとなるため、現認定施設は3月末～5

月末までの 2 ヶ月間は延長される。詳細は日臨技ホームページで発表になりますので関係している施設は確認してくださいとの報告があった。

③タスク・シフト/シェアについて

名称が「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」と決まった。

北日本支部では 8 月 21 日に仙台市にて実務担当者講習会を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止となったため、11 月 27 日に改めて実施する予定。仙台で講習会を受ける予定の方は、WEB 講習会のほか、【まとめ】実技講習コンテンツ、タスク指定講習会マニュアルを確認しておくこと、実務担当者用の動画も視聴可能となる予定ですのでそちらも視聴してください。青臨技では 3 月に 1 度研修会を開催したいと考えています。との報告があった。

【議題】

1. ピンクリボンキャンペーン 2021 への協賛

齋藤会長より今年度も昨年度と同様に協賛金について提案があった。

理事に意見を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

2. 心電図健診の派遣技師リスト及び領収書作成案

吉岡（拓）理事より心電図健診に関して以下の提案があった。

- 1) 各支部から提出される派遣技師リストが支部ごとに様式が異なるため、様式を統一
- 2) 派遣技師のリスト・依頼文書作成、日当の支払い・領収書の作成まで支部で行う

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

3. ZOOM の運用

齋藤会長より青臨技で ZOOM の契約を行いました。現在は 100 人までの使用で契約をしています。各支部の理事会、研修会などで使用して下さい。管理方法は部門長、支部事務局長に管理してもらうこととなった。石山理事より ZOOM の参加人数を増やす契約に変更したらどうかとの提案があった。高松理事より ZOOM 使用のスケジュール管理について質問があった。齋藤会長より ZOOM でミーティングを作成するだけでなく、サイボウズのカレンダーに登録することにしますとの回答があった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

4. 国際医学情報センター（IMIC）への会誌提供について

現在、国立国会図書館、青森県立図書館、医学中央雑誌刊行会、科学技術振興機構に会

誌を提供しているため提供しない方向としたい。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

5. サンメディアより複数利用承諾の確認について

齋藤会長より、会誌利用等の許諾依頼が届いている旨の報告があり、著作権料に関する記載内容に対し意見・提案を求めた。

「無料にして広く見てもらった方が良いのではないか（吉岡（治）理事）」「無料にして広く青臨技の活動を知ってもらった方が良いのではないか（石山理事）」などの提案があり、基本無料で許諾することとした。著作権については、一度日臨技へ問い合わせることとする。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

6. 令和4年度 学会・総会

6月18、19日 五所川原ホテルサンルートで開催予定。学会は現地とWEBのハイブリット、今年度同様トランスミッションをお願いすることとした。総会も役員改選もあるため現地とWEBで実施したいと考えている。三上理事より総会と学会を同日で開催できないかとの提案があった。同日開催も含め新型コロナの状況等で変更していくこととした。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

7. 会誌

発行を年度内に行いたい。賛助会員は11月末までに入金と広告をお願いしている。

論文の投稿は11月中の提出とアナウンスする。投稿規程は、今年度見直しを行い内容が変更となったが、著作権に関する内容を追加し、周知のためホームページにアップすることとなった。会員名簿に関しては、個人情報の問題もあるため施設名、電話等だけ掲載することにした。会誌とは別に、理事等が使用するための名簿のみ残すこととなった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

8. 会報

齋藤会長より、次回の発行を10月中の予定とし、奨励賞等の受賞者原稿は次回掲載す

ることとした。研修会報告はWEB開催となっているため、開催後各部門長に依頼することとなった。理事会・総会の議事録はホームページで確認できるため今後会報の内容についても検討の必要があるとの報告があった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会長 印

幹事 印
印